

LikePot久留米中央 放課後等デイサービス 事業所における自己評価表

※無回答・複数回答あり。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		・十分かつ適切なスペースの確保と区切りがなされていると思う。 ・パーティション等を使用し、スペースを作っている。	子どもたちの様子を見ながら今後も続けていく。
	②	職員の配置数は適切である	5	1		少し多いと感じる。	子どもの様子や活動を見ながら配置を考えていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1	5	・急な階段はなかなかの障壁となる。 ・階段はあるが、それも練習になる。	・環境整備については、検討していく。 ・引き続き、スタッフが見守りながら安全に移動できるようにしていく。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		4	4	・根本的な解決に至る議論はなされていない。 ・PDCAサイクルを活用している場面を現状見ない。	まずはスタッフ全員がPDCAサイクルについて知っていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		・業務改善に向けて全社的に動いている様子は確認できない。 ・関与していないので、不明。	保護者から提出いただいたアンケートについては、スタッフ間でも目を通すようにしていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3			前年度分がHPに上がっているため、掲載後にスタッフへ周知を行う。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	1	分からない。	現在は、外部評価は行っていないため検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				
適切 な支 援の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	3	1	そもそも日常的なoperationの中に保護者のニーズを聴取するタイミングがない。	・送迎の際の時間を活用していく。 ・時間が必要なご家族については個人面談を実施していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1		5	検査キットがない。	アセスメントツールは、今後より分かりやすいものに整備していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	2	個々の判断で決定している。	・毎月の月案はスタッフ間で作成している。 ・活動プログラムについてはOTの意見を聞きながら、誰でも立案できるように取り組んでいく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2		工夫はそれぞれが考えているが、備品も限られており限界もある。	会社全体で情報共有を行い、工夫できるようにしていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	1	日常的のoperationから改善しないとそういった設定の習慣はつかないと思う。	平日・休日・長期休暇で活動内容（イベントなど）を検討し実施している。個別課題についても今後は検討を行っていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	4		分からない。	集団での課題と個別での課題を明確にし、計画書作成を行っていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	5		1	・終礼時。 ・実行表に記載されている内容を自己解釈する形。認識がずれていることは多々ある。 ・実行表を各自が確認。	終礼やスタッフミーティングで共有を行っていく。また、個人ファイルをそれぞれが意識的に確認するように徹底していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・毎日終礼で情報共有している。 ・曜日によっては時間の確保が困難な時があり、その時は各自でノート作成にて共有している。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		トークノートへ誰にでも分かる表現で記載がある。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	5		分からない。	モニタリング実施後に、スタッフで共有できるよう記録を確認する時間を設ける。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	5		分からない。	スタッフ間で、ガイドラインの確認を行い、アセスメント・個別支援計画書作成の際に、意識して取り入れていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		どういった人選で参加者が決定しているか不明。	基本的には、児発管や管理者が参加しているが、お子さんの状況に応じて検討する。また会議の前には、お子さんの変化や事業所で感じている課題などを整理して参加する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	1	・実績がない？ ・緊急時対応のマニュアル等があると便利。	現状は、受け入れられる体制がないため受け入れを行っていない。今後必要がある際には、共有を行う。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		分からない。	園などで会議が開催される際には、参加を行っている。必要に応じて計画相談へ情報提供を求めなど行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		6		分からない。	現状、放課後デイサービスから障害福祉サービスへの移行のケースがない。必要に応じて会議への参加や情報共有を行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5	1	分からない。	必要に応じてセンターの見学や情報共有を行っていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1	5	知る限りではない。	現在は積極的に実施できていない。今後検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		4	2	分からない。	管理者が参加している。参加した際の記録の共有を行っていく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		短時間での共有になっており、定期的な面談や話すタイミングを作っていく。	保護者と話し合いの場を設けていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	2		全体での実施はできていないが、必要に応じて面談などで支援を行っていく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	4		関与していないので、分からない。	契約時に実施している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2		送迎時の立ち話程度で、もう少し密にやりとりする必要があると個人的には感じる。	悩みがあるご家庭や話を聞きたいご家庭については面談を取り入れていく。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	2		現在は、法人全体で実施しているが必要に応じて事業所単で開催なども検討していく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		関与していないので、分からない。	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				
	㉟	個人情報に十分注意している	6				
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	3		行事自体が開催できていないため、今後検討していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	2		緊急時を想定して、避難訓練以外の訓練を実施していく（怪我の対応・不審者対応など）
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	3	1		年1回開催している。入職時期によっては、記録等で周知していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2	2	そのような場面で対応したことは、現状なし。	虐待防止や権利擁護の研修等を踏まえて、見直していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	1	アレルギーのある児童は、現状なし。	アレルギーの状態によっては、医師の指示のもと対応を行っていく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		記録にしっかりと残っていない。もしくは、残っていてもその所在が分からない。	ヒヤリハット事案については、トークノートへ記載している。記録を事例集としてファイリングし、情報の共有を行っていく。